

あるかぼーと・唐戸エリアマスタープランデザイン会議

第4回 議事概要

日時	2023年10月25日(水) 13:30~17:00
場所	下関市役所 5階会議室
参加者(委員)	HBP・KAM 共同事業体：泉、吉田、木村隼、有賀、木村大、清原、鈴木、安本 専門家：長町、榎本、大橋、井上、熊谷 地域事業者：郷田、湊、竹内、立川 事務局：北島副市長(事務局長) エリアビジョン推進室 前田、田中、平山、村上、上野

1. A地区の再公募に向けた検討状況

北島副市長より資料に基づき説明の上、議論

- 検討課題について、現在の整理に基づいて、具体的な方向性の検討は今後スケジュールを踏まえて進めることを確認。

2. 港湾緑地のデザイン検討

熊谷委員及び長町委員よりデザイン案・模型を提示の上、議論

(噴水)

- 噴水については、観覧車に代わる大きなシンボルとなる可能性も秘めており、緑地の軸線上に存在することや、唐戸市場方面からの視認性も考慮して設置場所を検討する必要がある。
- 一方で、噴水を海水で実施する場合、風向きによっては陸側に来る可能性もあることや船舶の接岸との関係において噴射口の配置場所の検討が必要。釣り場としての利用をどうするかという問題もあるため、詳細については協議が必要。
- ライトアップに関しても、船舶の航行への影響、また、角度によっては海響館の生物との関係も考慮が必要。

(緑地)

- A地区事業との関係では、樹木が敷地ギリギリまで存在するのはどういう狙いか。
- A地区が中で完結させるのではなく、海響館側からオープンテラスに入るイメージだとすると、いきなりA地区の施設ではなく少しバッファがあると良いため、これを考慮した緑地設計としている。
- 遊具を含め、海響館・緑地・A地区が一体になるような案になっている点が良いのではないかと。

3. 今後の社会実験について

木村隼委員及び有賀委員より資料に基づき説明の上、議論

(各エリアの考え方)

- 船溜まりは地形的に「見る・見られる」の関係性が生まれている。それを誘発するにはどうしたら良いかという視点で

考えたい

- 唐戸市場～カモンワークあたりではそれぞれの場所の事業の機能拡張をできると良い
- 一方で、ゾナーレ～港湾緑地の前の部分は解放区としてエクストリームスポーツなどが出来るような場所になると良いのではないか。
- みらいパーク1とみらいパーク2の間の道部分の軸線を強調するような仕掛けができると良い
- ファミリマートが入店している施設のワクワク感を上げるようなことができないか

(他の取組との連動)

- 夜間景観とも連動した企画を検討していきたい。夜間景観としては、3月に緑地の実証。来年度はカモンワーク～港湾緑地まで、モバイルファニチャーと連動して視線を誘導するようなことや海響館の壁のライトアップなども考えている。
- 全ての社会実験をKAMでは出来ないので、色々な所と運営連携できたらと思っている。商工会議所やJCなどの団体や桜の時期の唐戸商店街のタテ道（唐戸町5号線）など既にある魅力、馬関祭り（8月24、25日）などと連動した仕掛けも検討していく。

(冬季の実施)

- 環境的に厳しい冬も実施することは検討できないか。
→現状の案は、緑地の設計等も考慮した最短スケジュールとしての提示。

(サイン計画等)

- イベント等で人が増えると、喫煙所の課題があるのでは。
→喫煙所は全国的には無くしている傾向、今はタバコメーカーが費用を払い場所を借りてつくっている。喫煙場所をつくる時には立面的に検討し、高い場所に設置して煙が回らないようにしたりする必要がある。あまり平面的にやると光と影が出来てしまう。
- サイン計画もエリア全体で考えていく必要があるのではないか。
- 海響館の大型生物の搬入等の動線は考慮しておく必要がある。

4. 唐戸周辺の混雑緩和に向けた交通検討

榎本委員より資料に基づき説明の上、議論

- 現在、入っていない内容として、公共交通への渋滞による影響について、何か方策が考えられないものか。棕野トンネル方面から唐戸に入る際に渋滞につかまってしまう。
→車列が左側に延びることもあり影響は大きいと思う。海外では全部バス専用レーンを入れずに、一部区間だけ入れるようなこともしている。また停止レーンを下げて、その前にバスが入れるような工夫も考えられる。
- 唐戸市場への入口を増やす必要があるのではないか。
→基本的な処理能力はゲートの処理能力に依存するので、入口を増やしたところで、見た目の渋滞長は変わるが、延べの渋滞長は変わらないと想定される。まずは今あるものの運用を変えながら解消できることはないか。

5. 今後の事業スケジュール及び次年度事業

北島副市長及び木村隼委員より、資料に基づき説明の上、議論

(マリンパークゾーン)

- 潮入池・ボラードについては、緑地全体の視点が重要であり、個別の話にならないよう、大噴水も含めて検討が進むようにしたい。

以上